

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

1 調査対象 (学校数、児童生徒数は特別支援学校を含んだ数)

	対象学校数	児童生徒数
小学校(第5学年)	301校	14,956人
中学校(第2学年)	169校	15,069人

※調査実施期間：令和4年4月から7月末までの期間

※特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状況等を考慮して、参加の是非を判断。

2 実技に関する調査

【体力合計点】(80点満点)

〈小学校〉

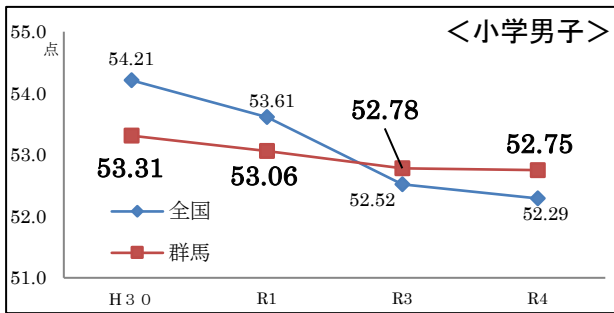
		令和4年度	全国比較
男子	本県	52.75	+0.46
	全国	52.29	
女子	本県	55.34	+1.02
	全国	54.32	

【体力合計点】(80点満点)

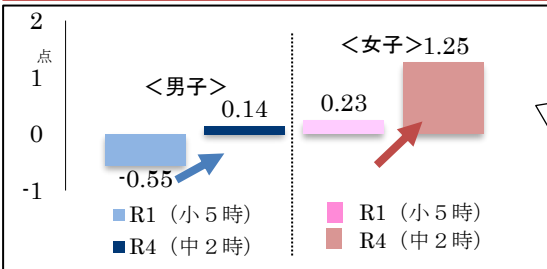
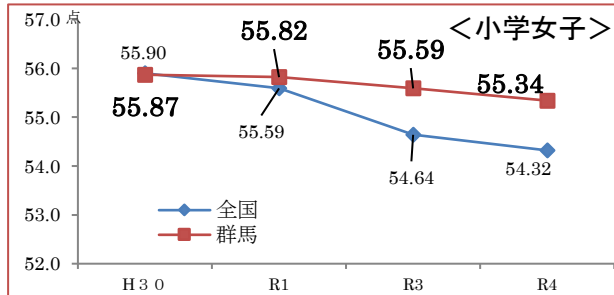
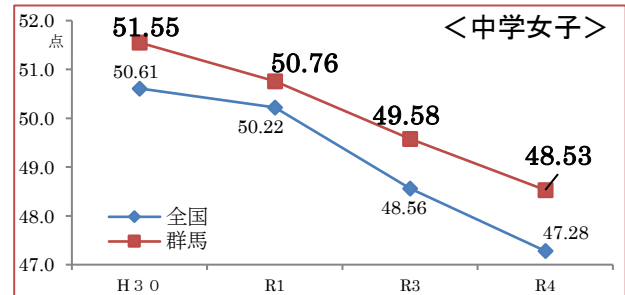
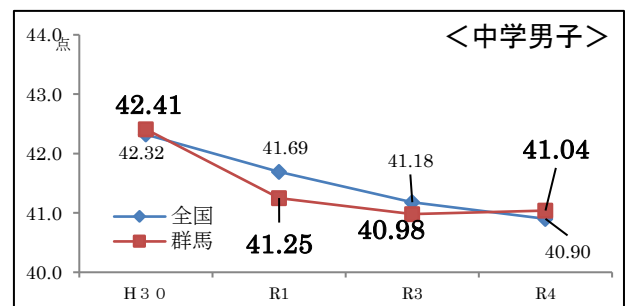
〈中学校〉

		令和4年度	全国比較
男子	本県	41.04	+0.14
	全国	40.90	
女子	本県	48.53	+1.25
	全国	47.28	

【体力合計点の推移】



【体力合計点の推移】



同一集団(小→中)で見た体力合計点の全国平均との差

現中学校2年生について、小学校5年生時の調査結果と比べると、男子は、全国平均よりわずかに低かったが、全国平均とほとんど差が見られなくなった。女子は、全国平均とほとんど差がなかったが、全国平均より高くなるなど、男女とも全国平均を上回る傾向が見られた。

〈体力合計点について〉

○中学男子は全国平均とほとんど差がなかったが、小学男子、小学女子、中学女子は全国平均を上回った。

○中学女子は前年度と比べて低くなったが、小中男子、小学女子は、ほとんど差がなかった。

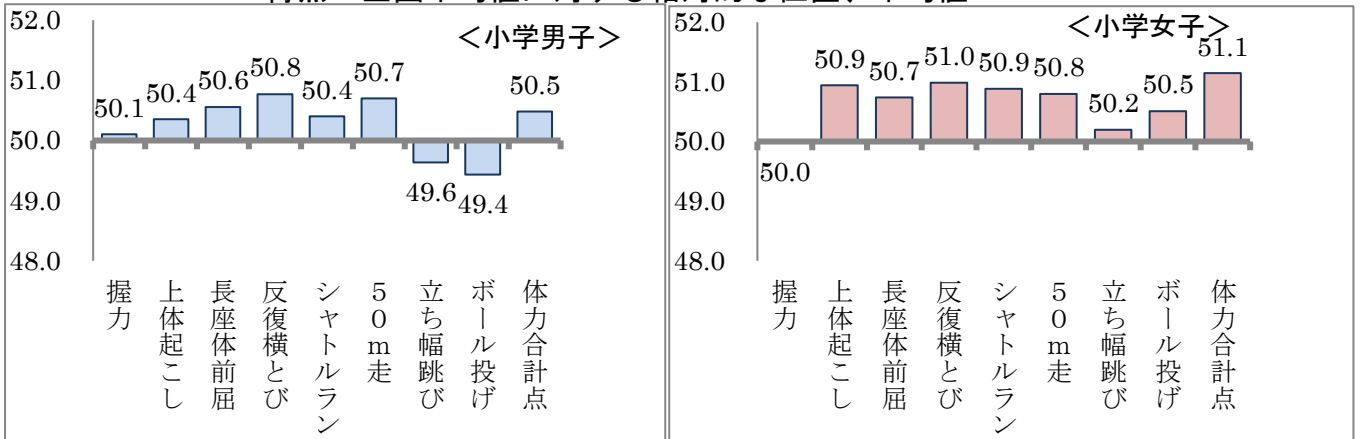
○小学女子、中学女子は、ともに全国平均より高い傾向が続いている。

【各項目の結果】

〈小学校〉

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
男子	本県	16.25	19.07	34.30	41.02	46.77	9.44	149.99	19.85
	全国	16.21	18.86	33.80	40.37	45.93	9.53	150.86	20.31
女子	本県	16.19	18.47	38.87	39.41	38.39	9.62	145.03	13.40
	全国	16.20	17.97	38.20	38.67	36.98	9.70	144.59	13.16

↑得点：全国平均値に対する相対的な位置、平均値50

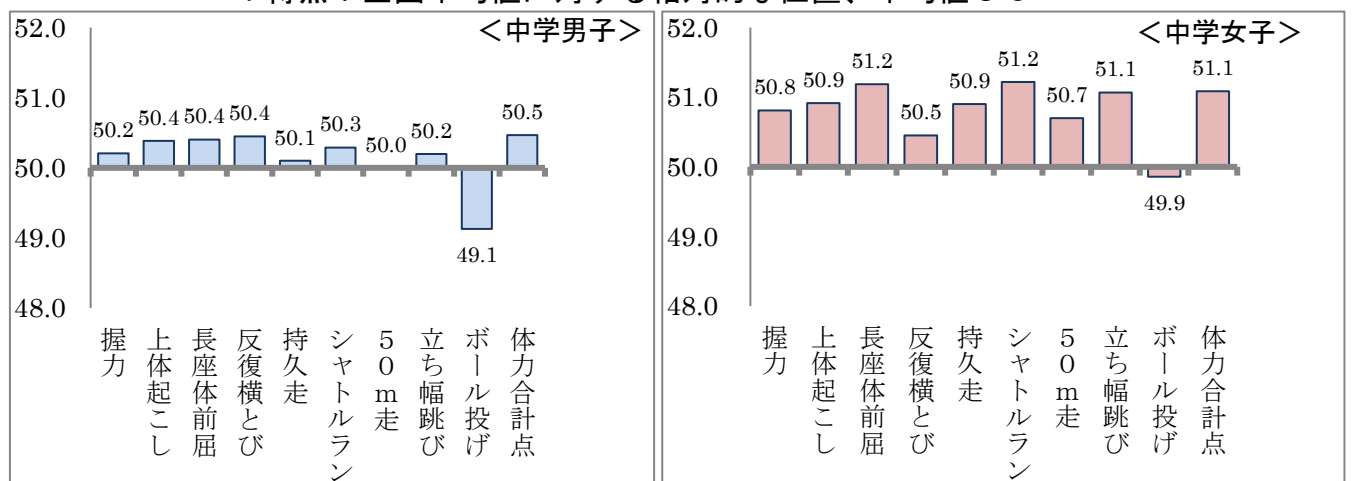


〈中学校〉

※持久走とシャトルランは、どちらか選択。

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回)	持久走 (秒)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
男子	本県	29.10	25.88	44.21	51.42	409.86	78.43	8.06	197.42	19.67
	全国	28.95	25.64	43.76	51.02	410.92	77.69	8.06	196.82	20.20
女子	本県	23.55	22.12	47.30	46.14	299.48	53.73	8.90	169.65	12.32
	全国	23.17	21.58	46.05	45.81	303.96	51.34	8.97	166.89	12.38

↑得点：全国平均値に対する相対的な位置、平均値50



〈各項目における傾向について〉

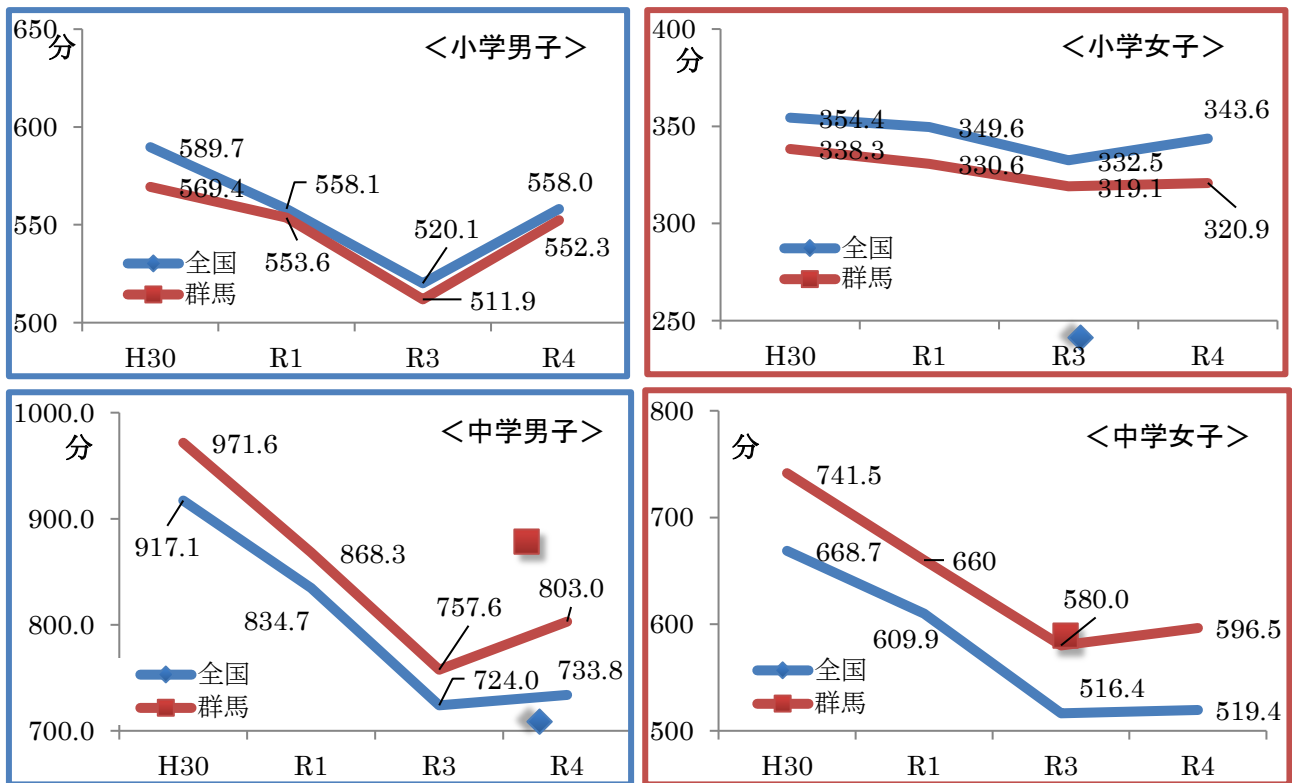
○小学校において、男子は立ち幅跳び、ボール投げ以外の項目で全国平均を上回っており、女子は握力以外の項目で全国平均を上回っている。

○中学校において、男子は50m走、ボール投げ以外の項目で全国平均を上回っており、女子はボール投げ以外の項目で全国平均を上回っている。

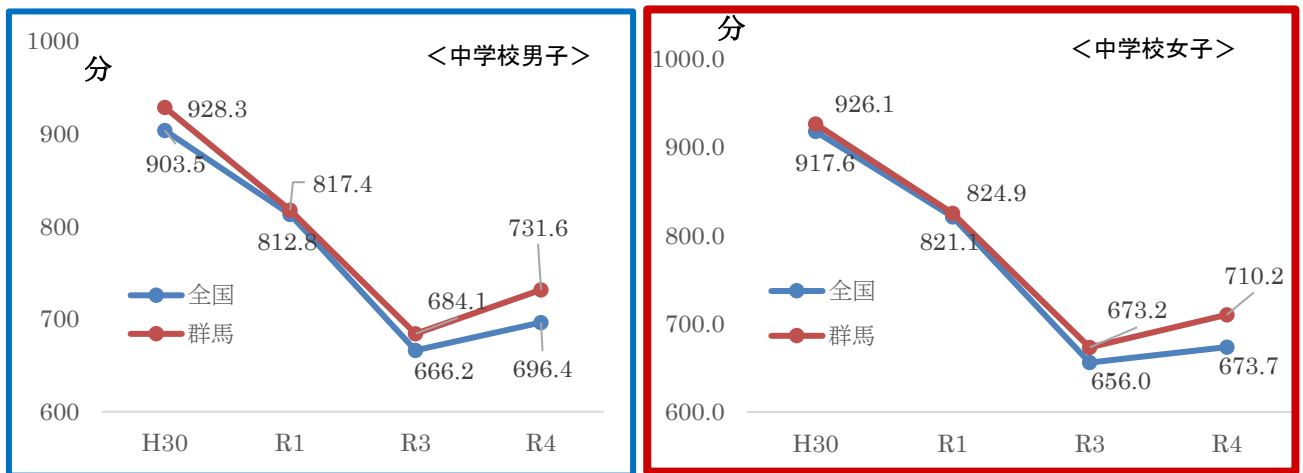
3 児童生徒質問紙調査

〈全国と比較したときの本県の特徴〉

(1) 体育授業時間以外の1週間の総運動時間(分)について



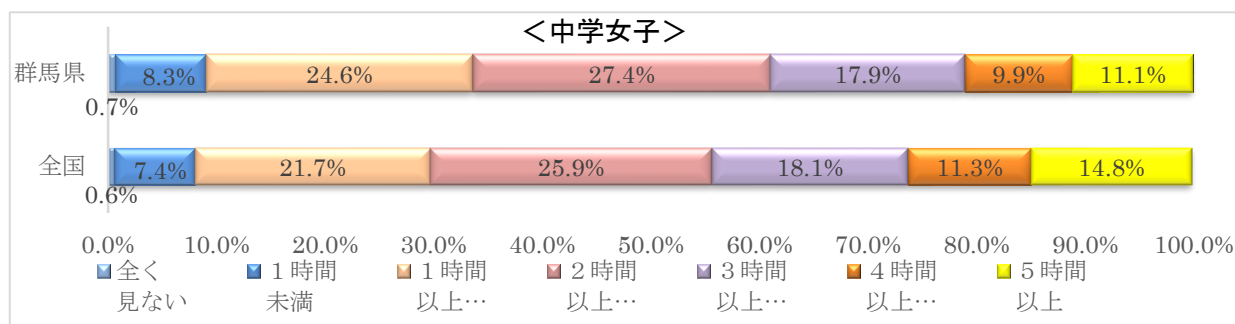
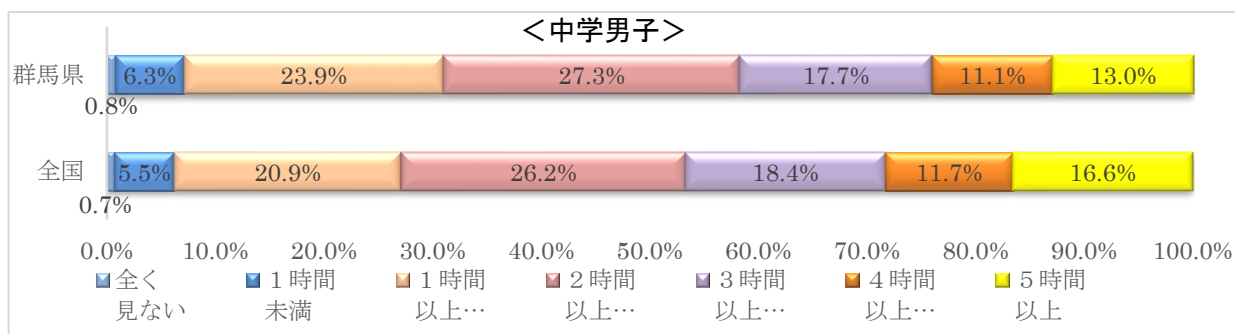
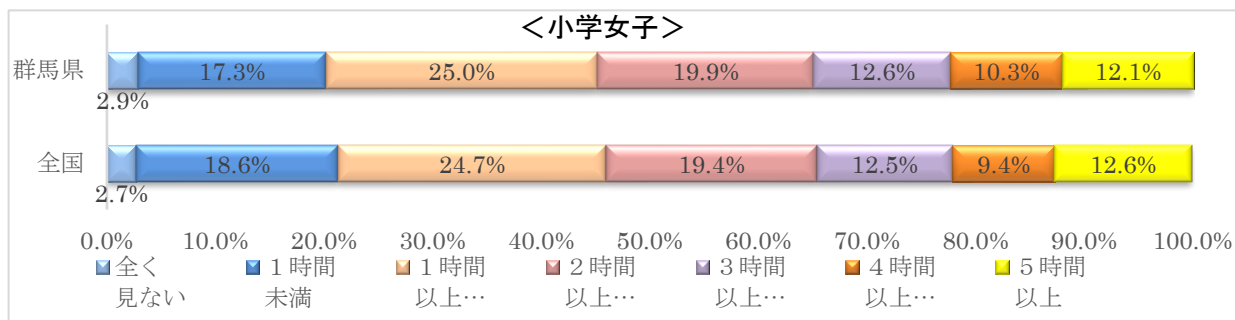
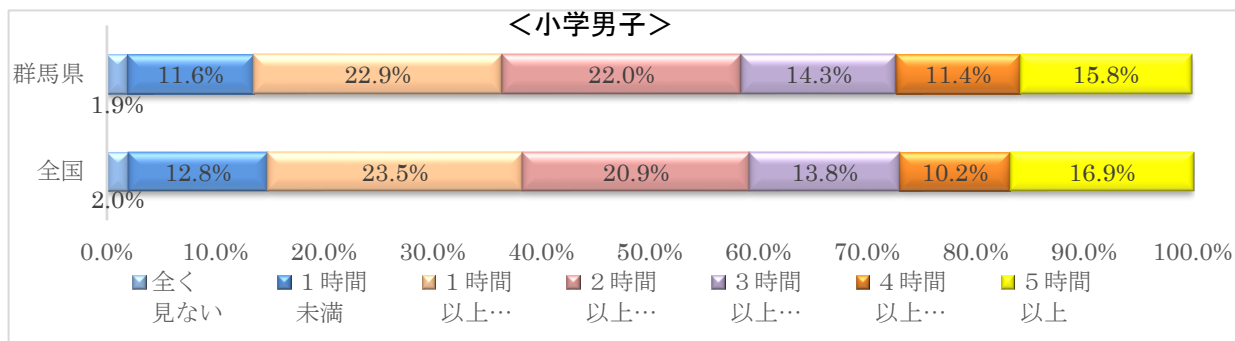
1週間の運動部活動実施時間(分)について(中学校)



○小学男女は全国平均を下回ったが、中学男女は全国平均を上回った。

○平成30年度以降、1週間の総運動時間平均(分)の減少が続いていたが、小中男女いずれも増加した。

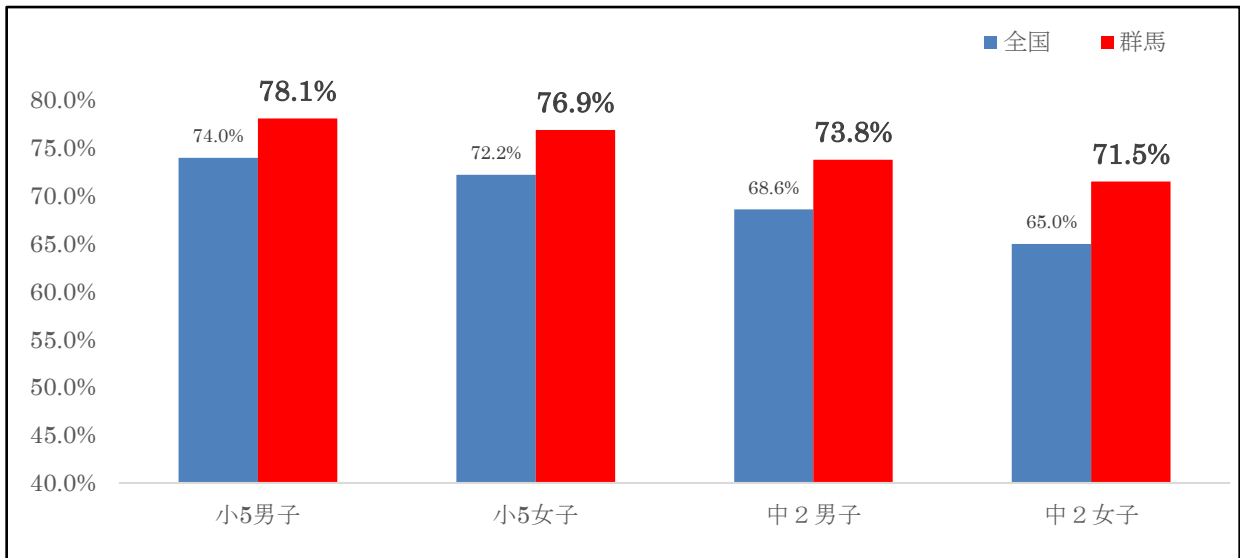
(2) 平日（月～金曜日）の学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているかについて



○全国同様、本県小中学校男女とも約4割～5割の児童生徒が、平日の学習以外で2時間以上5時間未満、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている。

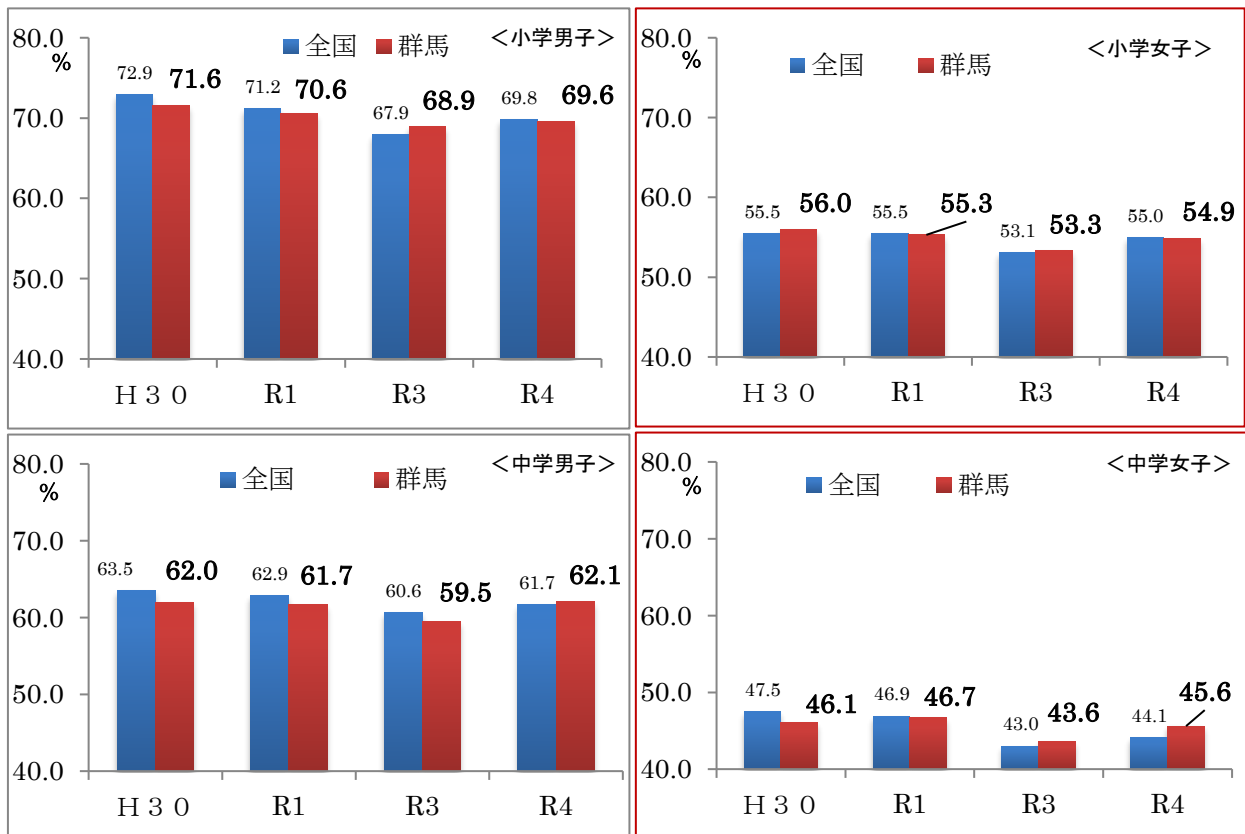
○中学校男女とも2時間以上（～5時間以上）が全国より少ない。

(3) 体力テストの結果や体力向上の観点から、自分なりの目標を立てている児童生徒について



○体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てている児童生徒の割合は、全国平均と比べて小中学校の男女いずれも高かった。

(4) 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが「好き」と感じている児童生徒について



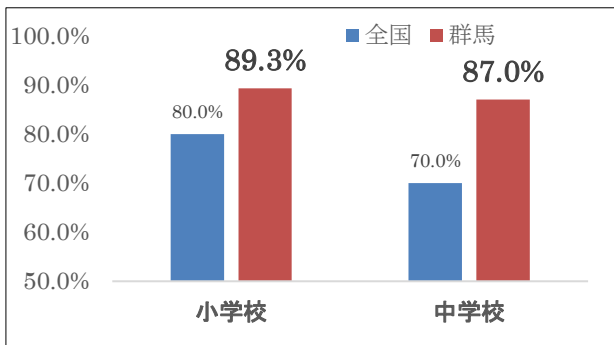
○「運動やスポーツをすることが好き」と感じている児童生徒の割合は、小中学校の男女いずれも、全国平均とほとんど差がなかったが、全国、本県ともに前年度より高くなった。

4 学校質問紙調査

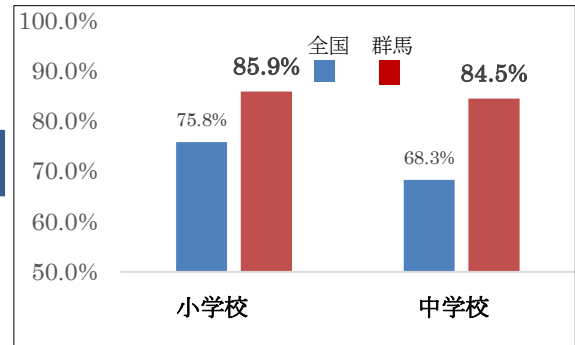
〈全国と比較したときの本県の特徴〉

(5) 学校全体として体力・運動能力向上の目標設定をしたことについて

〈今回 (R4) 〉

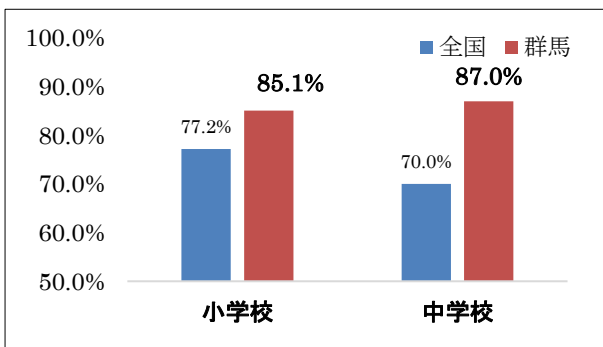


〈前回 (R3) 〉

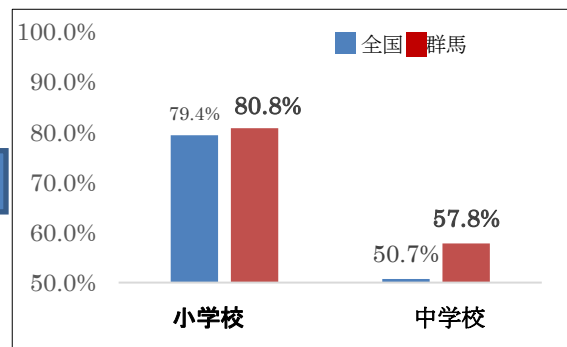


(6) 体育・保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことについて

〈今回 (R4) 〉



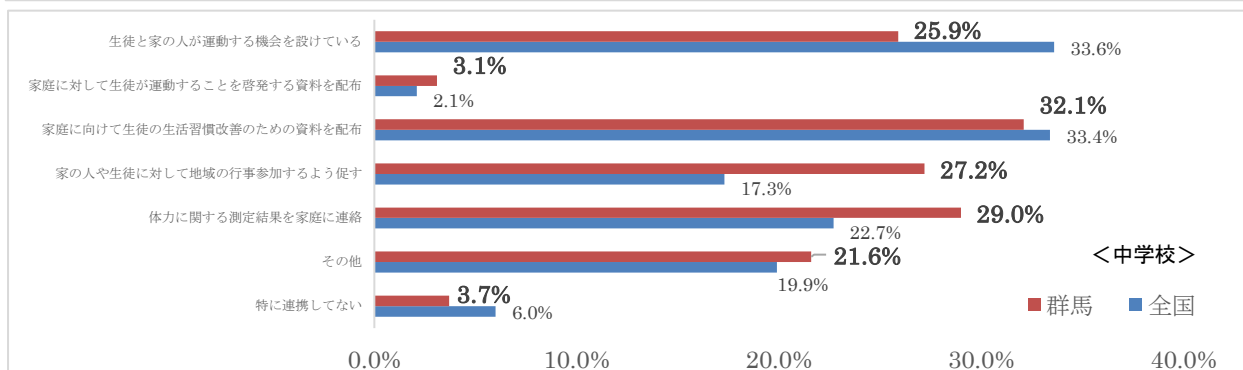
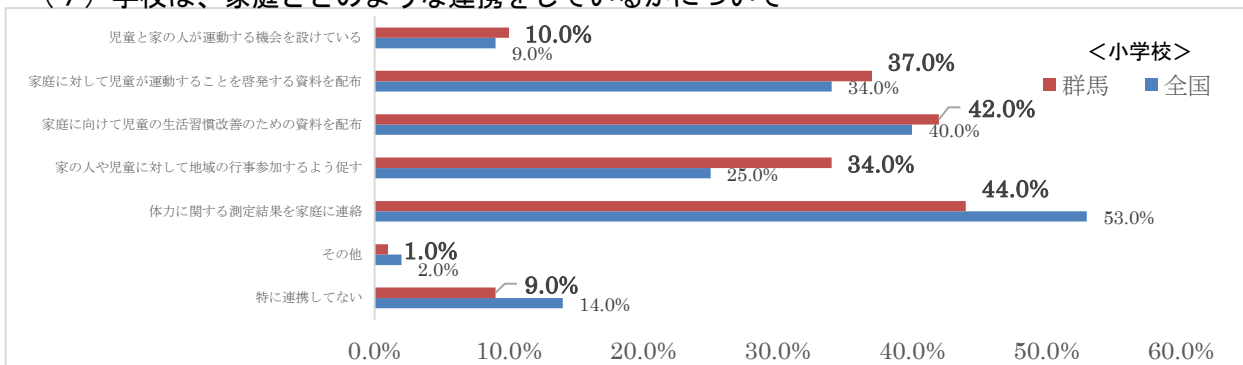
〈前回 (R3) 〉



○学校全体での体力・運動能力向上のための目標設定や、体育・保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組等は、小中学校ともに全国平均を上回った。また前回と比べて高くなった。

〈家庭との連携〉

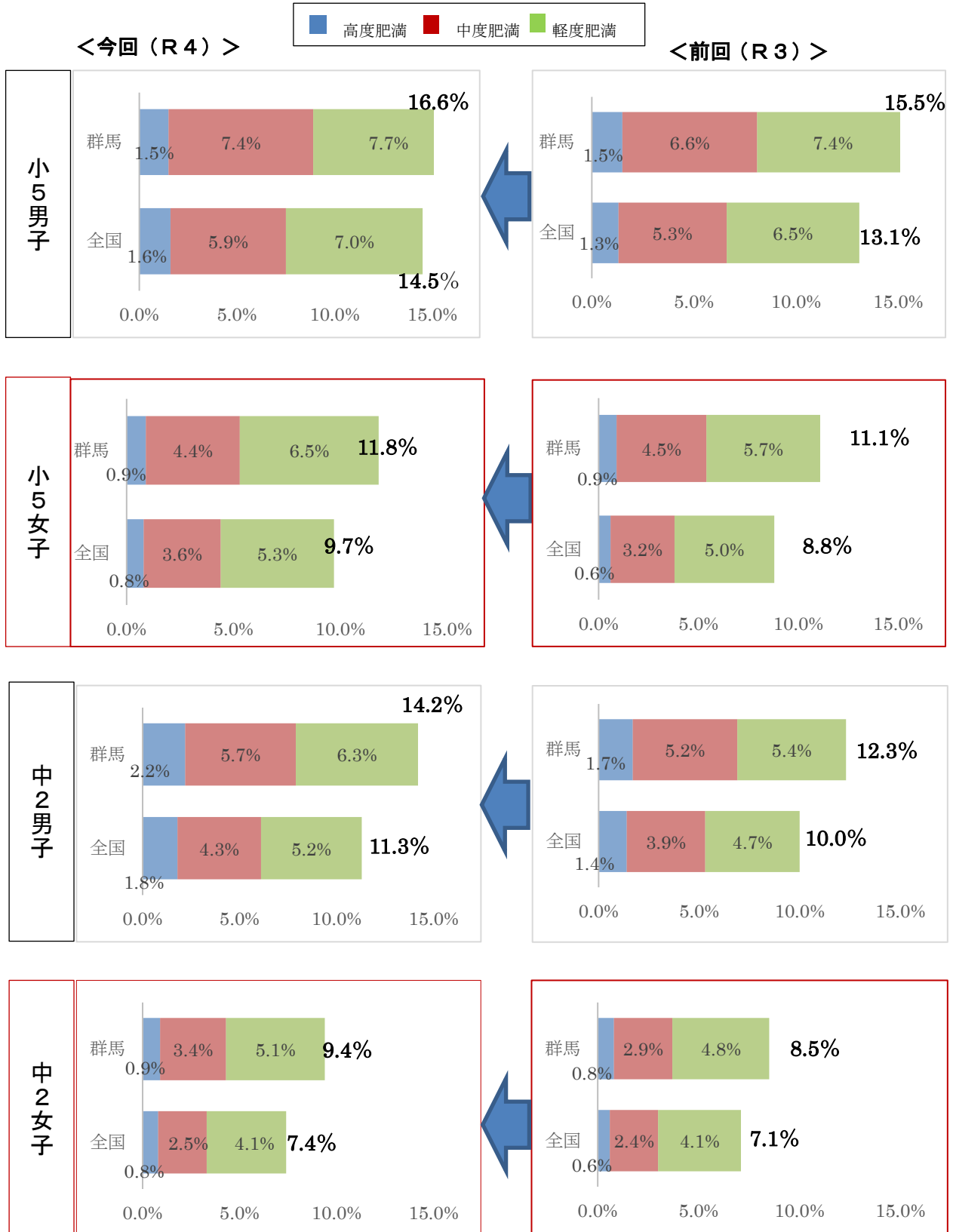
(7) 学校は、家庭とどのような連携をしているかについて



○家庭に向けて児童生徒の生活習慣改善のための資料を配布したり、体力に関する測定結果を家庭に連絡したりする等、約9割以上の学校が家庭と連携をとっている。

5 体格に関する調査

〈肥満傾向の児童生徒の出現率〉



○肥満傾向（高度肥満＋中度肥満＋軽度肥満）の児童生徒の出現率は、全国平均と比べて小中学校いずれも高く、前回と比べて上昇した。

6 成果と課題

<成果>

- ◎小学男子、小学女子、中学女子の体力合計点が全国平均を上回った。
- ◎平成30年度以降、1週間の総運動時間（分）の減少が続いていたが、小中男女いずれも増加した。
- ◎「運動やスポーツをすることが好き」と感じている本県児童生徒の割合は、小中学校の男女いずれも、前年度より高くなった。
- ◎家庭に向けて児童生徒の生活習慣改善のための資料を配布したり、体力に関する測定結果を家庭に連絡したりする等、約9割以上の学校が家庭と連携をとっている。

<課題>

- 肥満傾向の児童・生徒の出現率が上昇している。

7 成果につながった本県の取組と今後の対策

<成果につながった本県の取組>

- (1) 体育・保健体育授業等で、児童生徒同士が1人1台のICT端末を積極的に活用するよう推進してきたことで、運動技能や意欲の向上につなげることができた。
- (2) 県内小学校で体育授業における教科担任制を積極的に推進してきた。
- (3) 体育指導に不安を抱える教員も活用でき、運動が苦手な児童生徒の意欲を高める工夫を取り入れた体育授業プログラムを提供してきた。
- (4) 県内全ての小中学校において、学校全体の体力・運動能力向上に関して目標を設定する「体力向上プラン」を実施してきた。

<今後の対策>

- 肥満傾向の対策も含め、家庭や関係機関（学校医や学校給食センター等）との連携を強化し、児童生徒の健康的な生活習慣を目指した取組を推進する。